－校長室だより－　第２号

令和６年６月１９日(水)発行

http://www.kurashiki-oky.ed.jp/school/syo-j/index.html

○　３年生元気いっぱい、修学旅行。小学校４年生以来の宿泊行事。

コロナ禍の影響をまともに受けた３年生。聞くところによると、小学校４年生の山の学習以来の宿泊行事だとか。出発の見送りに多くの先生方とグッズを準備した多くの保護者の方、なんと「ひさっしくん」まで登場して、盛大に見送っていただきました。この勢いからか近くを散歩していた方々も手を振ってバスを見送ってくれました。え～ところじゃなぁ～庄学区。３年生は何年間分の思いを乗せているためか、行きのバスの中からテンションが高く、車窓から見る大阪の「太陽の塔」では特に歓声があがっていました。

１日目の奈良では雨の中、東大寺などの歴史施設を回った後、昼食を食べた菊一文珠の前の奈良公園に戻ると、鹿が１匹もいない。これから鹿にエサやりタイムなのにどうするの？と思ったところ、店主が喉笛をならすと、あっという間に鹿だらけ。３年生は小雨の中、鹿に癒されていました。その後、郡山に移動し金魚すくい。金魚すくいが今回初めての人は半分以上いたような。金魚すくいに苦戦する人が続出。貴重な体験となりました。宿泊先はリニューアルしてまもない京都駅前の旅館銀閣京都。とてもきれいで３年生のテンションがさらにＵＰ。

２日目はいい天気で、京都の清水寺などの名所をバスや地下鉄・私鉄、ＪＲ等を使って１日かけてまわる、かなりスケールの大きい班別学習でした。３年生の先生方に感謝ですね。私もＤ組６班に頼んで一緒に回り、昼はくら寿司で生徒と一緒に握り寿司を食べ、まったりとした時間を過ごしました。皿を合わせて 30 枚以上投入しましたが、ガチャポン？は１個だけ。

３日目もこれまたいい天気で、大阪のＵＳＪの中で過ごしました。意外と途中で庄中生に会わなかったな。きっとそれぞれのところで楽しんでいたことでしょう。庄中に戻ると、遠くからでもわかるぐらい、グラウンドに横断幕や様々な手作りグッズで多くの保護者の方と先生方でお出迎え。この光景は私も教員生活３０数年で未だかつて見たことがないくらい。子どもたちへの愛情が直接伝わってきます。ＪＴＢの添乗員もバスの運転手もこんな光景見たことがない、と感動されていました。ありがとうございます、保護者の皆様。子どもたちも口には出さないですが、喜んでいたと思います。はぁ～、凄すぎる。

今回の旅行で３年生を見て２つの新たな発見がありました。一つは３年生が思った以上にタフだったこと。この３日間相当歩いたと思いますが、体調不良者が出ず、昼も夜も元気いっぱい。これからの時代はタフさが求められるので、自分の中で楽しみを見つけ身体的にも精神的にもタフを目指していきましょう。もう一つは集団での動きがてきぱき。今回は駐車場ではなく、道路沿いで乗車や下車がありましたが、集団としての動きがどちらも早い。さすがは３年生。まとまりのある行動でした。一番感心したのが、１日目の夕方の京都。小雨が降る中、バスが宿舎近くで路上停車し、運転手さんがバスのサイドから荷物を出し、バスを降りた人から順

に誰の荷物かわからないまま、どんどん持ってホテルのロビーに運び込む姿。もし自分の荷物が心配でその場に待つ人が何人か出てきたら、車道も歩道も渋滞を引き起こし、多くの人に迷惑をかけたことでしょう。自分の荷物にこだわらず、降りた人から順に荷物を持っていく姿が美しい。思い出に残る修学旅行でしたね。

○ ２年生広島平和学習。戦争の悲惨さと原爆の恐ろしさ。語りついでいこう。

実行委員を中心に１年時の３学期から平和学習を続けてきていた２年生。１・３年生が振替休日の５/２２(水)に平和学習のため広島にバスで向かいました。スローガンは「Learn and pray for peace～過去から未来につづくたすきを自分達でつなぐ番だ～」。バスの中では原爆にまつわるビデオを見ながら（3 号車のビデオは B29 が広島上空に到着したところ)、広島に入りました。最初に平和記念資料館と爆心地に最も近く一瞬のうちに 400 名の児童の命を失った本川小学校を、クラス別に時間をかけて見て回りました。３年生の修学旅行でも思ったのですが、外国人観光客の多いこと。２年生も外国人観光客に交じって、展示物をジッと見入っていました。昼食は広島平和記念公園内の芝生の上で、車座になっておにぎり弁当を食べていました。また、各組４グループに分かれて、広島平和記念公園周辺の碑巡りをしましたが、説明していただいたガイドさんの中には大学生もいて、ガイドの世界も引き継がれていることを実感しました。

平和集会を行う「原爆の子の像」の広場は修学旅行生の団体が順番待ちだったため、隣の木立の中で平和集会を行いました。各クラスで考えた平和宣言の場面で、クラスの代表が宣言文を言っている時に、運悪く近くで草刈り機の音が響き、代表生徒の声がクラスの後ろに届きにくい状態でしたが、一生懸命耳を澄まして一緒に平和宣言を唱えていた姿が一番印象に残っています。昨年の自然教室では、集合した際におしゃべりでよく注意を受けていた集団が、１年たって見違えるような協力体制でした。スローガンにもあるように、皆さんが次の世代に語ってバトンを渡してほしいと思います。

そして、２年生は２学期にはチャレンジワークも控え、これからも忙しい日々になると思いますが、行事を終えるたびに成長していく姿を期待しています。頑張ってください。

○ １年生は自然教室。「一心入魂～自然の偉大さに学ぶ～」

１年生は５/２０（月）～２１（火）に国立吉備少年自然の家へ行きました。天候がとてもよく暑いぐらいでしたが、班で協力しながら野外炊事やオリエンテーリングを頑張りました。フライングディスク、ゴルフや川遊びなど各クラス別の活動やキャンプファイヤーでは、大盛り上がりで元気のいい学年だなあ、と感じています。

自然教室の目的の一つは、物がない不便さの中で友達と協力して、ゴールを目指したり、料理を作ったりすることです。日ごろ便利な物に囲まれて生活している私たちにとって、不便な環境に身を置くことは貴重な体験です。今回の行事を通して、１年生の皆さんが大きな達成感を得たと思います。合わせて、学年目標Ｓ（素直）Ｈ（本気）Ｏ（思いやり）を感じる場面がきっとあったことでしょう。今後に益々期待。